

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	経済協力案件の選定・実施・完了後の諸調整等経費 (在外)		担当部局庁	国際協力局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	事業管理室	室長 遠藤 彰		
会計区分	一般会計		施策名	VI-1 経済協力			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第二章第四条ハ		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被援助国政府関係機関と技術協力事業に関する重点分野、協力プログラム協議を踏まえた候補案件の選定、援助実施に必要な国際約束の交渉及び締結作業等実施のための在外公館職員出張旅費						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	技術協力事業においては、政府開発援助大綱や政府開発援助に関する中期政策に基づき作成された国別援助計画や政策協議で示された援助重点分野、開発課題、協力プログラム等の我が国の指針に基づき、案件を採択している。我が国の援助をより効果的に実施するためには、被援助国政府との間で政策レベルでの調整を十分に行い我が国の援助政策をインプットしておくことが極めて重要である。このような協議・調整や技術協力事業の実施に必要な国際約束の交渉及び締結作業のための、任国内及び兼轄国への在外公館職員の出張旅費。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	2	2	2	2	2
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	2	2	2	2	2	
	執行額	2	0.5	3			
執行率(%)	95.37%	21.37%	127.84%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	要請案件について相手国政府との協議・調整を通じた実施候補案件の絞り込みとともに、要請内容の改善による優良案件への形成等を行う。(参考として右欄に、技術協力(技術協力プロジェクト、個別専門家、個別研修、機材供与)に係る要請案件数と採択案件数を記す。)		成果実績 (採択数)	-	823 (460)	762 (537) (暫定値)	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出張件数 (注: 右については機構改革に伴い21年度より新たに予算を再編成)		活動実績 (当初見込み) 出張件数	-	11 (10)	21 (18)	- ( )
単位当たりコスト	0.12(百万円/件)		算出根拠	出張案件の平均(本件に係る旅費の総額÷総件数)			
平成23年度(単位:千円)予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	在外職員等旅費	2,010	2,248				
	計	2,010	2,248				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件にかかる経費は技術協力を適切に推進していく上で基盤となるものであり、支出先についても可能な限り見積もり合わせなどにより競争性を確保した業者選定に努めている。また、出張期間は適当であるか、同行者は必要か、経路は経済的かつ合理的か等の観点から、節約措置を十分行った上で執行している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省  
3百万円

技術協力に関する案件選定等に係る旅費



在外公館職員の任国内出張及び兼轄国出張 21件  
3百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者 A	旅費	0.3	—	—
2	出張者 B	旅費	0.3	—	—
3	出張者 C	旅費	0.3	—	—
4	出張者 D	旅費	0.2	—	—
5	出張者 E	旅費	0.2	—	—
6	出張者 F	旅費	0.1	—	—
7	出張者 G	旅費	0.1	—	—
8	出張者 H	旅費	0.1	—	—
9	出張者 I	旅費	0.1	—	—
10	出張者 J	旅費	0.1	—	—